



スギ花粉飛散状況の計測と配信

藤田慎一

スギ花粉の飛散状況の把握については、環境省、農林水産省、大学、自治体、国研、日本気象協会、民間の気象会社、NTT ドコモなどが、いろいろな角度から精力的に取り組んできました。

環境省は花粉症に関する調査研究の一環として、平成 16 年度から花粉飛散予測に関する全国規模の調査研究を行っています。その成果は「スギ・ヒノキ花粉の飛散状況及び終息時期について」に取りまとめられ（請負先：NPO 法人花粉情報協会）、毎年定期的に発表されています。最新の平成 27 年春の状況は平成 27 年 4 月 27 日に報道発表されました。

花粉濃度の測定は、従来は固定式の採取器で 1 日 1 回花粉を採取し、顕微鏡を用いてその数を数えるダーラム法が用いられてきました。しかし近年、花粉自動計測器（花粉センサー）が開発され、飛散状況がリアルタイムで把握できるようになりました。花粉センサーはメーカー各社が販売していますが、基本的な測定原理は光学的な方法（散乱光強度や偏光度を利用してスギ花粉を砂塵から識別して検出）によるものです。環境省、自治体、NTT ドコモなどが観測ネットワークを展開して、花粉濃度データを配信しています。

スギ花粉飛散の数値シミュレーションは、植生図や森林簿を用いて花粉生産量を把握し、飛散プロセスを物理的に考慮した移流拡散モデルを、既存の地域気象モデルに取り込むことによりこれを予測するものです。花粉センサーのデータを活用することによって、飛散量の予測精度の向上が図られています。

以上の詳細は各機関のホームページなどで知ることができます。

（藤田慎一）

NTTdocomo

https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/page/091125_01.html

伸栄テクノロジー（株）花粉センサー

http://www.shinyei.co.jp/STC/optical/poln/main_poln.html

日本気象協会 天気アプリ

<http://www.tenki.jp/pollen/>

環境省花粉観測システム（はなこさん）

<http://kafun.taiki.go.jp/>

東京都健康安全センター 東京都の花粉情報

http://www.tokyo-eiken.go.jp/kj_kankyo/kafun/

ウェザー・サービス (株)

<http://www.otenki.co.jp/>

環境省 スギ・ヒノキ花粉飛散状況

<http://www.env.go.jp/press/100938.html>